

【治水】9) 河川の水位が下がらないうちにダムから放流がある場合は、内水対策が必要となる。

また、平成 18 年 5 月、10 月と 2 度にわたって内水被害を受けた下川町北町地区では、ダムがあれば被害軽減に寄与できたものと想定されます。

特に 10 月出水では、図-1 に示すとおりサンルダムがあった場合には約 240m³/s を洪水調節し、約 20 百万 m³（札幌ドーム 12 個分）をダムに貯め込むことで、ダム下流域の洪水の水量を低減し、下流（サンル水位流量観測所地点）の水位を約 1.5m 下げる効果が期待できます。それにより、サンル川の水位を地盤高以下に抑え、浸水を軽減できたと推定されます。

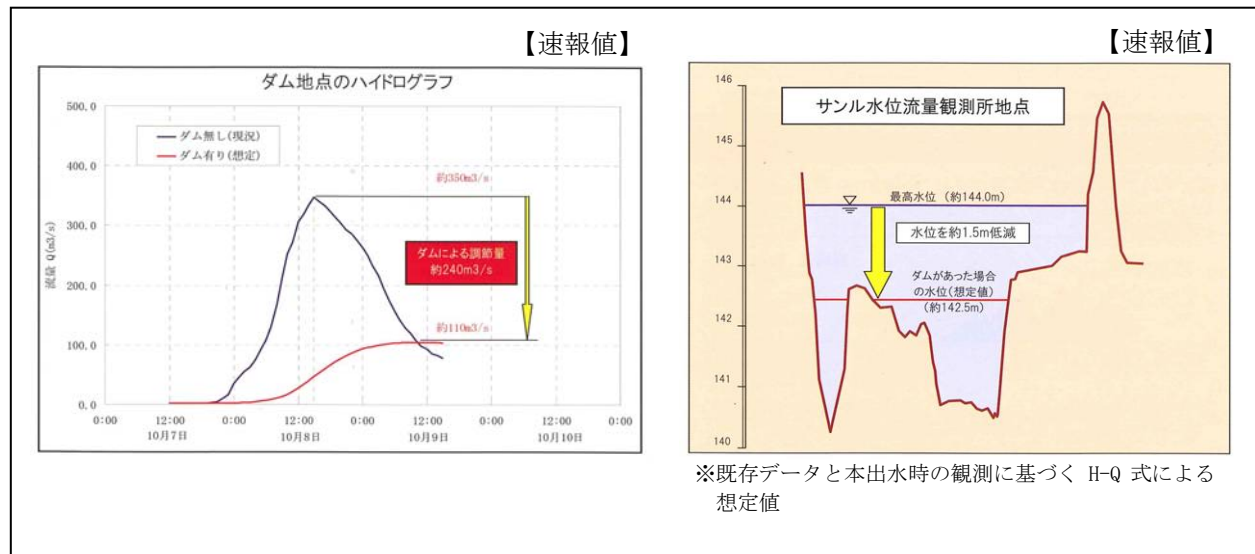


図-1 サンルダムに期待される効果（平成 18 年 10 月出水）